

「教育ボランティア ニュースレター」は年2回発行しています。第5号ができましたので、お届けいたします。

教育ボランティア ニュースレター

第5号

発行日 平成21年11月

学内ボランティアの皆さんに 学生の学びを支えていただいています！

今年度も、多くの教育ボランティアさんに、本学の教育にご協力いただいております。

このレターでは、「健康生活支援技術演習」と「助産診断技術学」での教育ボランティアさんの様子や学生の学びをお届けしたいと思います。

平成21年7月22日(水)に、学内ボランティアさん24名にご協力いただき、「健康生活支援技術演習」を行いました。この演習では、学生が企画した生活習慣病予防、健康づくり、介護予防などの健康教育の対象者となっていただきました。

学生は、ボランティアさんにご参加いただくことで企画に力が入り、分かりやすい媒体作成や伝え方などを工夫することができました。そして、学生達が予測していなかった視点での意見をいただいたことで、さらに分かりやすい健康教育に改善するための方法を考えることができました。

また、ボランティアの皆さんからは、「内容が役にたった」などのご意見をいただき、学生が企画

した健康づくりや介護予防などの健康教育に参加することで、新たな知識を得る機会にもしていただけたようです。

住民の皆さんにボランティアとして教育にご参加いただくことで、よりリアリティがある健康教育を行うことができ、学生の学習効果を高めることができました。



【健康教育の様子】

「助産診断技術学」 ボランティアさんからの学び

「学内ボランティア」さんは、現在も募集中です！学生の教育にご協力ください。

編集・発行

神戸市看護大学

健康支援地域連携センター

教育・研究部門 ニュースレター

平成21年9月28日(月)に、学内ボランティアさんに協力していただき、「助産診断技術学」の演習を行いました。この演習は、子育て期にある女性の生活を具体的に知り、妊娠期や分娩後施設入院中から、どのようなケアや保健指導が必要なのかを考えることを目的としました。

演習では、ボランティアさんは母親役、学生は助産師役になり、ロールプレイ(役割を決めて演技をする)を行いました。このロー

ルプレイで、学生は、今までの学習を活かして保健指導を組み立てることができており、いかに学習の積み重ねが大切か、また、講義や実習体験を経て、未熟ではあるが自分たちに力が付いてきたことに気づく機会となりました。ボランティアさんからは、学生の質問によって新たな発見があったり、最新の情報や知識を教えられたり、何よりも学生から元気をもらえたと言っていました。